



2022/3 3Q決算説明会 質疑応答集

オイシックス・ラ・大地株式会社

2022.2.10

新海老名ステーショントラブルについて①

-今後、同様の入荷トラブルが起きた際の対応について

現状についても元々持っているマテハンの機能を全て使用してはならず、高精度な機能の一部を使わずに、イレギュラー対応できる方法で稼働させています。マテハンの機能をすべて使わないことをデメリットもいくつかありますが、一方で、生産性の面では現時点の手法で、当初想定していた効率の90%以上を達成できています。今後、イレギュラーへの対応の面を踏まえ、どのレベルまでマテハンの機能を使って稼働させていくかはコスト・生産性の観点から検討していきます。

-新海老名ステーションの物流システムの自動化の課題について

新しい物流センターのマテハンについて、自動化した全てに問題があった訳ではなく、特にピッキング棚において全ての商品が揃って初めてラインが稼働し始めるという仕様になっており、今回のトラブルにおいては、その仕様がイレギュラーが発生した際に結果的に上手くワークしなかったと考えています。その他の自動化の箇所で言うと、段ボール箱の蓋を自動で閉じたり、出荷先まで流すなどの箇所は非常にうまくワークしていると思います。

-今後の物流拠点拡大への影響について

今回の問題の直接的な要因は、移転準備・期間が充分でない中、移転の判断をしたことであり、また移転時点を段階的に分けて行ったものの、最終段階の移転のボリュームが多く、かつ難易度が高かったことが要因です。一方で、仮に変異株への対応などがなく時間的な余裕があったとしても、今回の問題に気付けたかは正直に申し上げて分からないとも感じています。次に予定している冷凍の厚木ステーションの移転については、冷蔵と比べて賞味期限管理などオペレーションは容易ではあるものの、今回のレビューを踏まえ、移転計画をより精緻にかつ段階的に行いたいと考えています。

新海老名ステーショントラブルについて②

-今回のトラブルによる消費者のレピュテーションについて

トラブルに起因する解約については、想定よりも非常に少なく、お客さまに非常に感謝しています。

一方で、トラブルがマイナスの知名度であることは間違いなく、今後出会うお客さまに以下にプラスの体験をお届けできるかをしっかりチャレンジしていきたいと思います。

-生産者への影響について

本トラブルによって直接的に生産者と取引が出来なくなったということは発生していません。

また、生産者の方には、物流センターのリカバリーに際して、納品時間などについて色々と相談をさせていただき融通をお願いするなど、オペレーションの面で大変ご協力をいただいている状況です。あわせてわせて、励ましのお言葉も多くいただいています。

-来期の利益水準への影響について

今回のトラブルが発生しなかった場合の今期ターゲットを基準として、売上、利益、利益率ともに成長が可能であると考えています。

-長期の利益率目標（EBITDAマージン10%）への影響について

長期的なスパンで見た時には、今回のトラブルについては大きなマイナス影響は無く、キャパシティの拡張と収益力強化ともに、計画通り達成できる手ごたえを持っております。

その他質問

-3QのARPU水準について

初めに、3QのARPUについては物流トラブルの影響はありません。

その上で、3Qにおいても想定ほどARPUは下落しなかったという印象です。

-直近の競合環境について

直近の競合状況の状況で言うと、この物流センターのトラブルによる競合環境の変化について詳細には確認は出来ていません。

また新規会員の獲得効率への影響についても、トラブルにより当社も獲得を止めていましたのでその影響であるか、

もしくは競争環境の激化によるものかは見えないと考えています。

ただし、これまでの会社経営から、多くのプレイヤーが市場に参入する際はネガティブな影響はあまり無く、マーケットが大きくなるプロセスであることが多く、例えばミールキットについては欧米と比べてまだまだ小さいので、多くのプレイヤーと一緒にマーケットを作っていく形となると考えています。

免責事項

- ◆本資料は、会社内容をご理解いただくための資料であり、投資勧誘を目的とするものではありません。
- ◆本資料に記載された業績予想及び将来予測については、資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、正確性を保証するものではありません。
実際の業績等については、本資料における将来見通しと異なる場合がございます。

Oisix ra daichi